

新型コロナウイルス感染症の感染状況および 取組みについて

令和5年1月15日時点

令和5年2月

世田谷区

保健福祉政策部
世田谷保健所

はじめに

新型コロナウイルス感染症は、令和 2 年 1 月の国内初の感染確認後、急速に感染が拡大し、社会や経済に甚大な被害をもたらし、今なお日本のみならず世界中に脅威を与え、猛威を振るいつけている。

国はこの未曾有の事態に対応するため、令和 2 年 4 月から断続的に 4 度にわたり緊急事態宣言を発出し、不要不急の外出や移動について自粛を要請するなど、感染拡大防止に向けた緊急対策を進めてきた。世田谷区としても区民生活や事業活動を守り抜くため、感染予防の取組みを実施してきた。

本資料は、引き続き区民の皆様へ感染予防の取組みに向けたご協力をいただくとともに、今後の区の対策をより効果的なものとするため、区内の感染状況やこれまでの区の取組み等についてまとめたものである。

令和 2 年 7 月に区への対応及び今後の対策の全体像を取りまとめ、その後も定期的に区内の感染状況や区の取組等を取りまとめてきた。この度は、令和 5 年 1 月 15 日時点での区内の感染状況等について、取りまとめている。

これまでの区の感染状況等の取りまとめ履歴

- ・令和 2 年 7 月時点
- ・令和 2 年 8 月 28 日時点
- ・令和 2 年 10 月 28 日時点
- ・令和 2 年 12 月 23 日時点
- ・令和 3 年 1 月 31 日時点
- ・令和 3 年 4 月 18 日時点
- ・令和 3 年 7 月 18 日時点
- ・令和 3 年 8 月 22 日時点
- ・令和 3 年 10 月 24 日時点
- ・令和 4 年 1 月 23 日時点
- ・令和 4 年 4 月 3 日時点
- ・令和 4 年 8 月 14 日時点

< 新型コロナウイルス感染症の感染者数集計の考え方 >

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(以下「感染症法」) 12 条に基づき、医師が作成した発生届に記載されている感染者の「所在地」が世田谷区である方について、区内の感染者として人数を集計している。

集計にあたっては、HER-SYS に登録されている感染者を集計している。ただし、以下に該当する方は集計の対象外としている。

○クルーズ船(ダイヤモンドプリンセス号)乗客

なお、区のホームページ上で掲載している感染者数は、公表日の集計時点で区が把握した数値であり、本資料中の感染者数は、集計後の報告も含めて発生届の報告年月日で再集計したものであるため、ホームページ上と本資料中の数値に差異が生じる場合がある。また、本資料における各集計の数値は、今後の調査状況等により、後日変動、修正する場合がある。

HER-SYS とは

厚生労働省が運営する新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システムの名称。

目 次

- 1 区内の感染状況（令和5年1月15日現在）・・・・・・・・・・ P1
 - （1）概要（令和5年1月15日現在）
 - （2）新規感染者数の推移
 - （3）陽性患者の入院状況
 - （4）死亡者の状況
 - （5）クラスター発生状況
 - （6）社会福祉施設等での感染の発生状況

- 2 区の感染予防の取組み・・・・・・・・・・ P9
 - （1）新型コロナウイルス感染症に関する取組概要
 - （2）新型コロナウイルス感染症に関する業務フロー
 - （3）新型コロナウイルス感染症に関する検査フロー
 - （4）新型コロナウイルス感染症自宅療養者への支援
 - （5）新型コロナウイルス感染症対応医療機関等支援事業
 - （6）PCR検査（従来型）件数の推移
 - （7）社会的検査の取組み
 - （8）東京都PCR等検査無料化事業に関する民間事業者との連携
 - （9）発熱外来ひっ迫の解消に向けた医療機関によるオンライン診療等体制の確保
 - （10）新型コロナワクチン住民接種の実施状況

1 区内の感染状況（令和5年1月15日現在）

（1）概要（令和5年1月15日現在）

新規感染者数の推移

令和4年9月26日より、発生届の対象が、(a)65歳以上の者、(b)入院を要する者、(c)重症化リスクがあり、新型コロナウイルス感染症治療薬の投与又は新たに酸素投与が必要と医師が判断する者、(d)妊婦、の4類型に限定されたため、従来と同様の感染状況把握ができなくなっている。発生届の件数については、10月下旬より増加傾向に転じ、令和5年1月2日～1月8日の週には1,192人と、全数届出見直し後としては過去最高となったが、その後減少傾向に転じている。

陽性患者の入院状況

令和3年8月から入院患者数を年代別で見ると、デルタ株が流行した8月は40、50歳の割合が高く、オミクロン株が流行の主体となった令和4年1月以降は70歳以上の割合が高くなっている。令和5年1月は70歳台の割合が低くなり、10歳未満と80歳台以上の割合が高くなっている。

死亡者の状況

令和5年1月15日現在、病院等からの連絡により区が把握した感染者における死亡者数は330人である（区外医療機関等で診断され、入院先または療養先も区外医療機関である場合については、区保健所が関わっていないため、含まれていない）。年代別の死亡者数は、80代が114人と最も多く、90代が108人、70代が60人、60代が11人、50代が19人、40代が6人、100歳以上が12人となっており、30代以下の死亡者は出ていない。死亡者数の約70%が80代以上となっていることから、高齢者ほどリスクが高く、より感染を防ぐ対策が必要である。また、死亡者全330人のうち、男性が185人、女性が145人であり、男性が多い傾向にある。

クラスター発生状況

区内の医療機関および社会福祉施設等でクラスター（5人以上の陽性者）が発生した事例は1,592件把握している（令和5年1月15日現在）。前回集計時（令和4年8月14日現在）の983件からこの約5か月の間で約1.6倍の件数となった。

社会福祉施設等での感染の発生状況

区内の社会福祉施設等で、職員や利用者に患者が発生した事例は39,652件把握している（令和5年1月15日現在）。前回集計時（令和4年8月14日現在）の26,052件から、この約5か月の間で約1.5倍の件数となった。

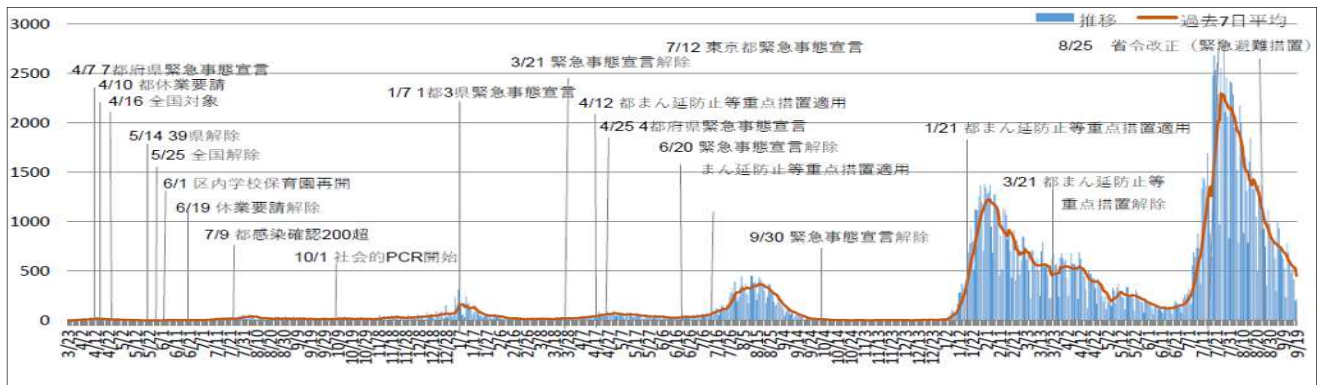
(2) 新規感染者数の推移

区内の新規感染者数は、令和3年1月4日～10日の週に1,143人となり、東京都では1月7日に2度目の緊急事態宣言が発出された。以降の新規感染者数は減少傾向であったが、4月25日に3度目の緊急事態宣言が発出される状況となり、4月26日～5月2日の週に498人まで増加。6月20日に緊急事態宣言が解除され、まん延防止等重点措置に移行したが、その後急激に感染拡大し、7月12日に4度目の緊急事態宣言が発出され、2回の延長がなされた。その後、新規感染者数は急激に減少し、9月30日に緊急事態宣言も解除され、10月18日～24日の週には1桁にまで減少。令和4年1月になり新たな変異株（オミクロン株）の影響で新規感染者数が急増し、1月21日にまん延防止等重点措置が適用され、1月31日～2月6日の週には8,308人まで増加した。

その後、3月21日にまん延防止等重点措置が解除され、新規感染者は緩やかに減少し6月13日～19日は863人まで減少した。しかし、オミクロン株亜系統BA.5への置き換わりが進んだことなどにより、7月に入り新規感染者数が急増し、7月25日～31日の週には15,064人と過去最高を更新した。

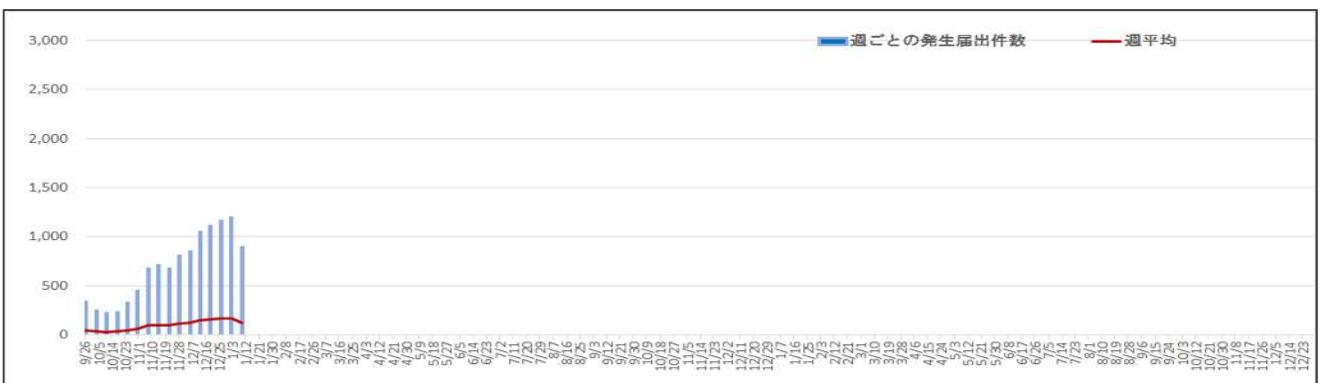
令和4年9月26日からは、発生届の対象が、(a)65歳以上の者、(b)入院を要する者、(c)重症化リスクがあり、新型コロナウイルス感染症治療薬の投与又は新たに酸素投与が必要と医師が判断する者、(d)妊婦、の4類型に限定されたため、従来と同様の感染状況把握ができなくなっている。発生届の件数については、10月下旬より増加傾向に転じ、令和5年1月2日～1月8日の週には1,192人と、全数届出見直し後としては過去最高となったが、その後減少傾向に転じている。

< 区内の新規感染者数の推移 > 全数届出見直し前（令和2年～令和4年9月25日）



棒グラフは1日あたりの件数、線グラフはその日を含む過去7日間の1日あたりの平均件数。

< 区内の発生届出件数の推移 > 全数届出見直し後（令和4年9月26日～）



全数届出の見直しに伴い、区の公表方法を日単位から週単位に変更したことから、上記資料も棒グラフは発生届対象者の1週間分の件数、線グラフはその週の1日あたりの平均件数に変更している。

< 週ごとの新規感染者数推移 >

【令和5年1月15日現在】

全数届出見直し前（令和2年～令和4年9月25日）

各週 【全数届出見直し前】	感染者数 (件)
令和2年～ 令和3年12月12日	28,469
12月13日～12月19日	32
12月20日～12月26日	33
令和3年12月27日～ 令和4年1月2日	62
1月3日～1月9日	457
1月10日～1月16日	1,861
1月17日～1月23日	4,814
1月24日～1月30日	7,872
1月31日～2月6日	8,308
2月7日～2月13日	6,505
2月14日～2月20日	6,172
2月21日～2月27日	4,807
2月28日～3月6日	4,449

各週 【全数届出見直し前】	感染者数 (件)
3月7日～3月13日	3,911
3月14日～3月20日	3,810
3月21日～3月27日	3,346
3月28日～4月3日	3,815
4月4日～4月10日	3,684
4月11日～4月17日	3,216
4月18日～4月24日	2,786
4月25日～5月1日	1,984
5月2日～5月8日	1,597
5月9日～5月15日	1,806
5月16日～5月22日	1,763
5月23日～5月29日	1,476
5月30日～6月5日	1,123
6月6日～6月12日	893
6月13日～6月19日	863

各週 【全数届出見直し前】	感染者数 (件)
6月20日～6月26日	1,062
6月27日～7月3日	1,779
7月4日～7月10日	4,591
7月11日～7月17日	9,489
7月18日～7月24日	14,205
7月25日～7月31日	15,064
8月1日～8月7日	13,381
8月8日～8月14日	10,541
8月15日～8月21日	9,241
8月22日～8月28日	6,737
8月29日～9月4日	5,416
9月5日～9月11日	4,717
9月12日～9月18日	3,724
9月19日～9月25日	2,657
合計	212,518

< 週ごとの発生届出件数推移 >

【令和5年1月15日現在】

全数届出見直し後（令和4年9月26日～）

各週 【全数届出見直し後】	発生届 出件数 (件)
令和4年9月26日～ 10月2日	330
10月3日～10月9日	247
10月10日～10月16日	219
10月17日～10月23日	233
10月24日～10月30日	326
10月31日～11月6日	443
11月7日～11月13日	671
11月14日～11月20日	705
11月21日～11月27日	677

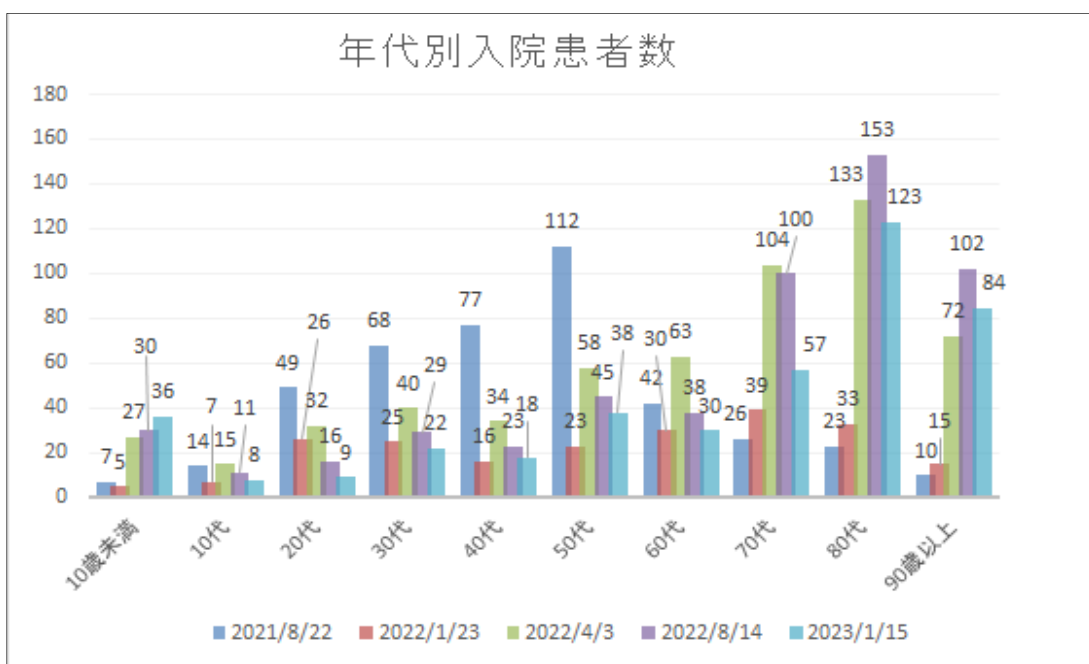
各週 【全数届出見直し後】	発生届 出件数 (件)
11月28日～12月4日	801
12月5日～12月11日	845
12月12日～12月18日	1,051
12月19日～12月25日	1,110
令和4年12月26日～ 令和5年1月1日	1,162
1月2日～1月8日	1,192
1月9日～1月15日	895
合計	10,907

全数届出見直し後、世田谷区内の陽性者の詳細な情報把握ができなくなったことにより、把握可能な「発生届」対象者「(a) 65歳以上の者、(b)入院を要する者、(c)重症化リスクがあり、新型コロナウイルス感染症治療薬の投与又は新たに酸素投与が必要と医師が判断する者、(d)妊婦」のみを上記表に記載。

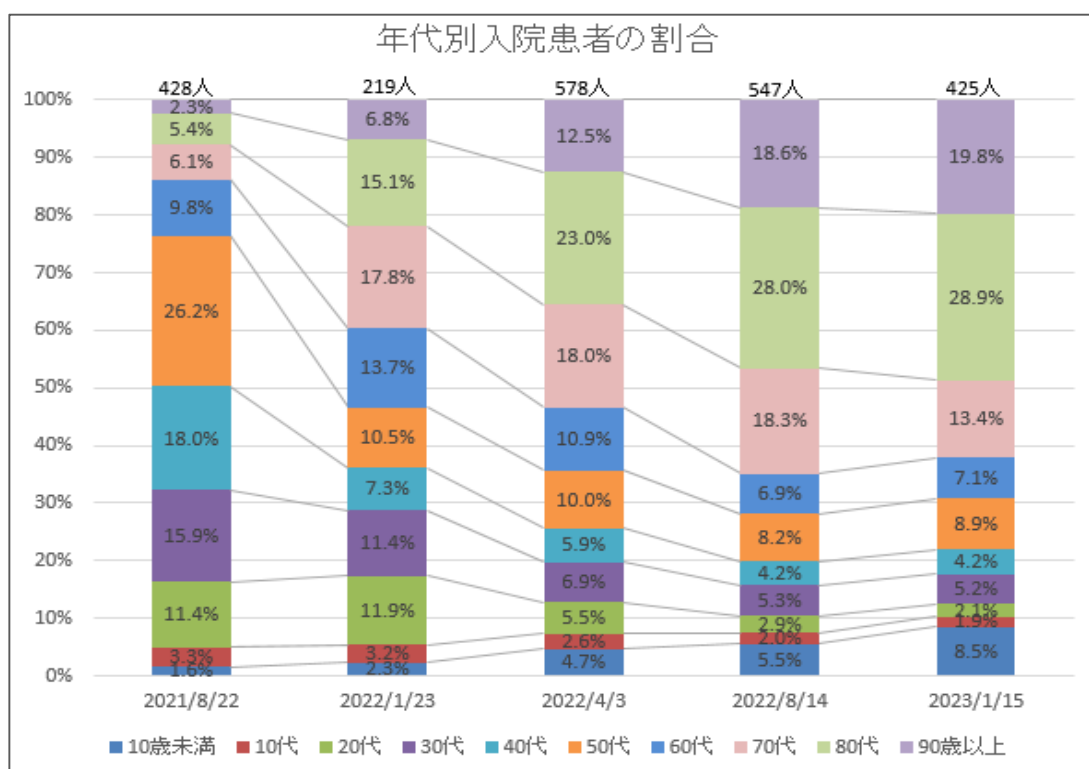
(3) 陽性患者の入院状況

令和3年8月から入院患者数を年代別で見ると、デルタ株が流行した8月は40、50歳の割合が高く、オミクロン株が流行の主体となった令和4年1月以降は70歳以上の割合が高くなっている。令和5年1月は70歳代の割合が低くなり、10歳未満と80歳以上の割合が高くなっている。

なお、発生届出対象見直しにより累計陽性者数の把握ができなくなったため、令和5年2月発行分より下記グラフ「年代別入院患者数」の累計陽性者数の記載を削除している。



図の数値は統計上の数値であり、実際の数値とは異なる場合がある。

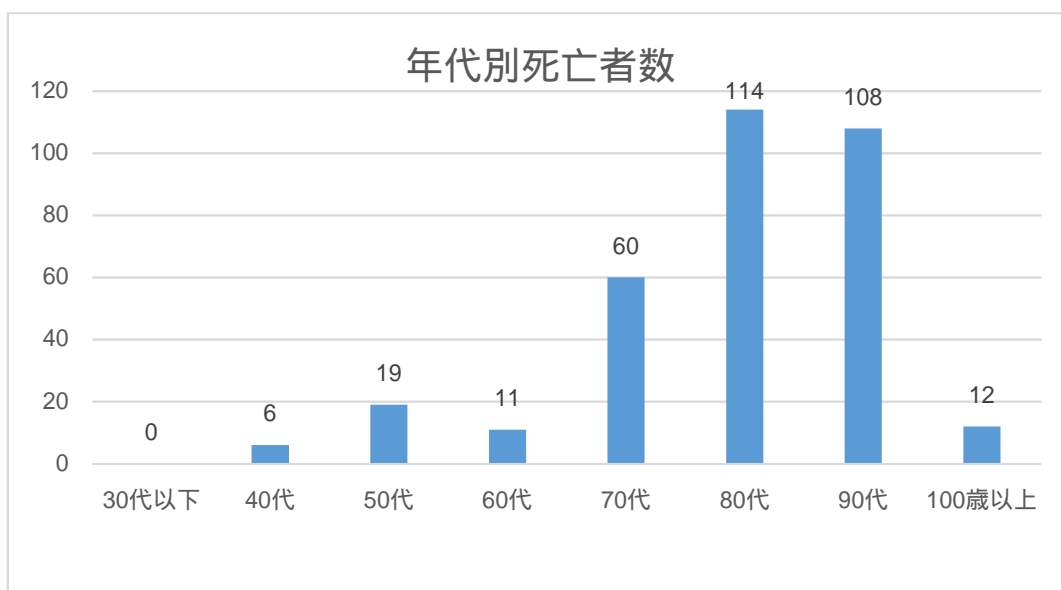


図の数値は統計上の数値であり、実際の数値とは異なる場合がある。

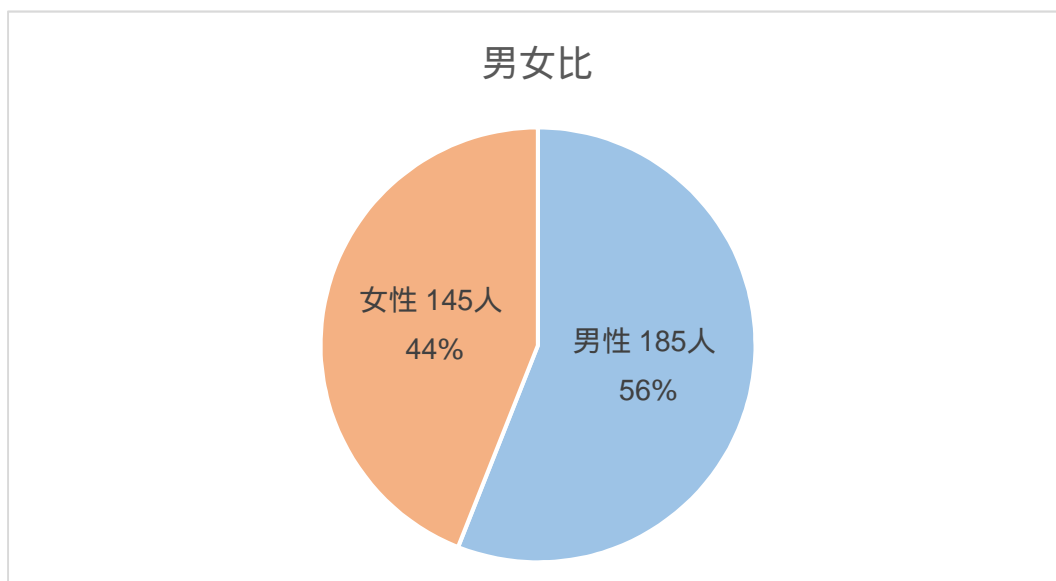
(4) 死亡者の状況

令和5年1月15日現在、病院等からの連絡により区が把握した感染者における死亡者数は330人である(区外医療機関等で診断され、入院先または療養先も区外医療機関である場合については、区保健所が関わっていないため、含まれていない)。年代別の死亡者数は、80代が114人と最も多く、90代が108人、70代が60人、60代が11人、50代が19人、40代が6人、100歳以上が12人となっており、30代以下の死亡者は出ていない。死亡者数の約70%が80代以上となっていることから、高齢者ほどリスクが高く、より感染を防ぐ対策が必要である。また、死亡者全330人のうち、男性が185人、女性が145人であり、男性が多い傾向にある。

<年代別死亡者数>



<死亡者の男女比>



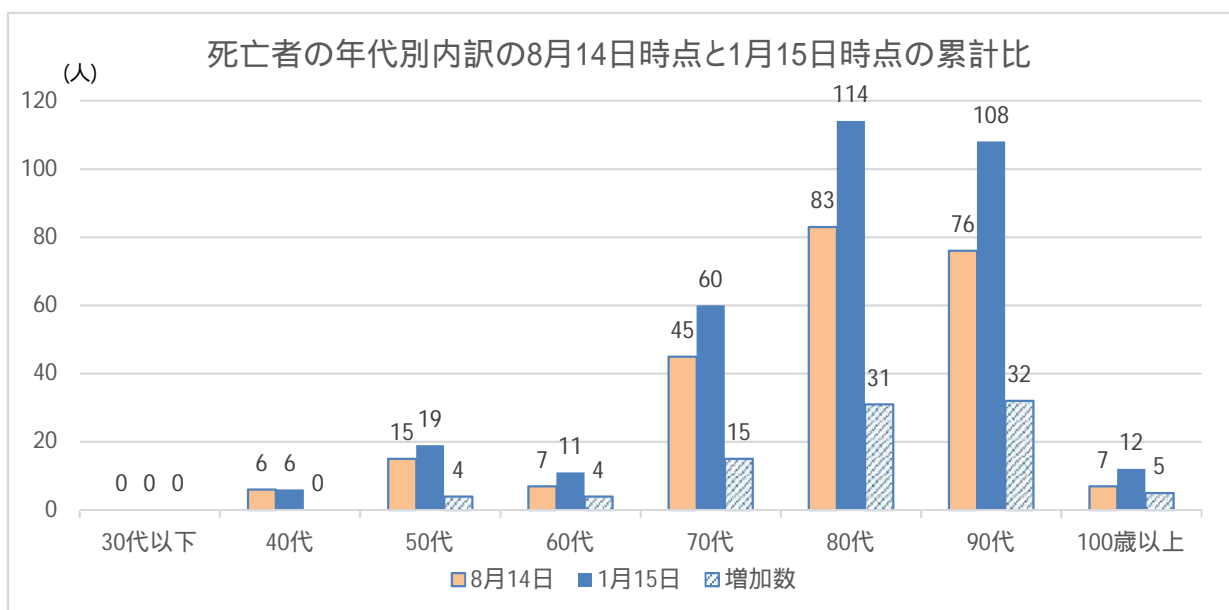
<年代別死亡者数の累計（各取りまとめ時点別）>

	30代 以下	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳 以上	計
R3. 8月22日	0 人	3 人	6 人	4 人	27 人	47 人	35 人	1 人	123 人
10月24日	0 人	6 人	15 人	6 人	34 人	58 人	41 人	2 人	162 人
R4. 1月23日	0 人	6 人	15 人	6 人	34 人	59 人	42 人	2 人	164 人
4月3日	0 人	6 人	15 人	7 人	42 人	67 人	61 人	4 人	202 人
8月14日	0 人	6 人	15 人	7 人	45 人	83 人	76 人	7 人	239 人
R5. 1月15日	0 人	6 人	19 人	11 人	60 人	114 人	108 人	12 人	330 人
各年代の 割合		1.8 %	5.8 %	3.3 %	18.2 %	34.6 %	32.7 %	3.6 %	100 %

死亡情報が反映されるまで時間差があるため、実際の数値とは異なる場合がある。

<年代別死亡者の各取りまとめ時点における前回からの増加人数>

	30代 以下	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳 以上	計
R3.8月22日		3 人	9 人	2 人	7 人	11 人	6 人	1 人	39 人
10月24日		0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人	0 人	2 人
R3.10月24日		0 人	0 人	0 人	0 人	1 人	1 人	0 人	2 人
R4.1月23日		0 人	0 人	1 人	8 人	8 人	19 人	2 人	38 人
4月3日		0 人	0 人	0 人	3 人	16 人	15 人	3 人	37 人
4月3日		0 人	0 人	0 人	3 人	16 人	15 人	3 人	37 人
8月14日		0 人	4 人	4 人	15 人	31 人	32 人	5 人	91 人
R4.8月14日		0 人	4 人	4 人	15 人	31 人	32 人	5 人	91 人
R5.1月15日		0 人	4 人	4 人	15 人	31 人	32 人	5 人	91 人



(5) クラスター発生状況

区内の医療機関および社会福祉施設等でクラスター（5人以上の陽性者）が発生した事例は1,592件把握している（令和5年1月15日現在）。前回集計時（令和4年8月14日現在）の983件からこの約5か月の間で約1.6倍の件数となった。

なお、令和4年1月以降、感染拡大や国からの通知による積極的疫学調査の手法変更等により、保健所による正確なクラスター（5人以上の陽性者発生があった施設）発生数の把握が現在困難なため、施設所管課が一定の期間に同一施設で感染者が5人以上発生した件数を速報値として記載し、また、各期間での発生件数を順に足し合わせ、累計として記載している。

< 区内のクラスター発生状況【累計】 >

施設等	R3.10月24日 現在	R4.1月23日 現在 2	4月3日 現在 2	8月14日 現在 2	R5.1月15日 現在 2
医療機関	14件	17件 (+3)	26件 (+9)	37件 (+11)	60件 (+23)
高齢者施設	34件	37件 (+3)	96件 (+59)	191件 (+95)	322件 (+131)
障害者施設	1件	4件 (+3)	19件 (+15)	34件 (+15)	55件 (+21)
保育園	21件	37件 (+16)	212件 (+175)	442件 (+230)	761件 (+319)
幼稚園	3件	9件 (+6)	18件 (+9)	37件 (+19)	62件 (+25)
小学校	3件	44件 (+41)	105件 (+61)	166件 (+61)	227件 (+61)
中学校	9件	18件 (+9)	47件 (+29)	76件 (+29)	105件 (+29)
計	85件	166件 (+81)	523件 (+357)	983件 (+460)	1,592件 (+609)

- 1 カッコ内は前回集計からの増加数を表している。
- 2 これまでの保健所の集計方法とは異なり施設毎に集計方法や集計数に差があるため、あくまでも参考値であり、今後数値が大幅に変更になる可能性がある。

(6) 社会福祉施設等での感染の発生状況

区内の社会福祉施設等で、職員や利用者に患者が発生した事例は 39,652 件把握している（令和 5 年 1 月 15 日現在）。前回集計時（令和 4 年 8 月 14 日現在）の 26,052 件から、この約 5 か月の間で約 1.5 倍の件数となった。

< 社会福祉施設等での感染の発生状況【累計】 >

施設等	R3.10月24日 現在	R4.1月23日 現在	4月3日 現在	8月14日 現在	R5.1月15日 現在
高齢者施設	794 件	891 件	2,155 件	4,009 件	6,379 件
障害者施設	111 件	141 件	344 件	590 件	1,079 件
保育施設等	504 件	797 件	4,096 件	7,952 件	11,724 件
幼稚園	60 件	107 件	325 件	574 件	942 件
区立小学校	607 件	1,150 件	5,632 件	10,452 件	15,636 件
区立中学校	220 件	366 件	1,147 件	2,475 件	3,892 件
合計	2,296 件	3,452 件	13,699 件	26,052 件	39,652 件

今回、各施設での集計方法を統一したことにより、数値が一部変更となっています。

< 社会福祉施設等での感染発生状況【月別感染件数（令和 4 年 8 月～12 月）】 >

施設等	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
高齢者施設	871 件	276 件	175 件	497 件	761 件
障害者施設	200 件	72 件	28 件	125 件	153 件
保育施設等	1,796 件	862 件	244 件	510 件	1,058 件
幼稚園	53 件	55 件	28 件	59 件	64 件
区立小学校	1,230 件	1,237 件	371 件	1,252 件	1,524 件
区立中学校	336 件	234 件	226 件	293 件	384 件
合計	4,486 件	2,736 件	1,072 件	2,736 件	3,944 件

2 区の感染予防の取組み

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する取組概要

前回（令和4年8月14日時点）の内容から更新している箇所に下線を引いています。

1 相談

分類	項目	内容
電話	新型コロナウイルス相談窓口	症状がない方の新型コロナウイルス感染症に関する相談対応を実施（外部委託）
	発熱相談センター	発熱や全身のだるさ等の症状がある方の相談対応を実施（外部委託）
	後遺症相談窓口	療養期間終了後も何らかの症状が残っている方の相談対応を実施（外部委託）

2 検査

分類	項目	内容
PCR 検査	従来型検査（行政検査）	無症状の濃厚接触者を中心に区内2か所で検査を実施（外部委託）
	社会的検査（行政検査）	区内介護事業所等の社会福祉施設を対象に早期に感染者を発見し、重症化防止やクラスター発生の抑止を目的とした検査を実施 ・医師の診断が伴う検査で無症状者を対象 ・定期検査と随時検査の2種類 現在定期検査は停止中
	社会的検査（スクリーニング検査）	区内介護事業所、障害者施設、児童養護施設等を対象に早期に感染者を発見し、重症化防止やクラスター発生の抑止を目的とした検査を実施 ・医師の診断が伴わない検査で無症状者を対象 ・検査の結果、「陽性（感染疑い）」となった場合、随時検査（医師の診断を伴う検査）または医療機関による診療・診断が必要 現在スクリーニング検査は停止中
抗原定性検査	随時検査の補完検査	区内介護事業所等を対象に一定以上のウイルス量を有する方を早期に発見することでクラスター発生抑止、重症化防止を図ることを目的として実施 ・医師の診断が伴わない検査で無症状者および軽い倦怠感やのどの痛みなど、体調が気になる場合が対象 ・検査の結果、「陽性（感染疑い）」となった場合、随時検査（医師の診断を伴う検査）または医療機関等による診療・診断が必要
	行事前検査	速やかな検査が可能な抗原定性検査を活用し、小中学校において校外学習や部活動の大会等の行事実施前に検査することで、感染拡大防止を図る

		・検査の結果、「陽性（感染疑い）」となった場合、随時検査（医師の診断を伴う検査）または医療機関等による診療・診断が必要
	医療機関支援	感染拡大に伴う、医療機関への支援として抗原定性検査キットを区内の医療機関へ配布
PCR等検査無料化事業	東京都PCR等検査無料化事業に関する民間事業者との連携	川崎重工業株式会社と連携し、東京都が実施しているPCR等検査無料化事業に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染不安を感じる都民に対し、無料でPCR等検査を実施
診断	東京都陽性者登録センター	<p>東京都が診療・検査医療機関への受診集中の緩和及び迅速な陽性判定の実施を目的とし開設</p> <p>・医療用抗原定性検査キット等での自主検査等で陽性と判明した都民（<u>発生届対象外の方</u>）が、オンラインで申請を行い、医師が陽性診断を行う。</p> <p><u>発生届の対象（令和4年9月26日～）：65歳未満、入院を要する者、重症化リスクがあり、かつ新型コロナ治療薬の投与又は新たに酸素投与が必要な者、妊婦</u></p>

3 診療（地域医療との連携・支援）

分類	項目	内容
診療	地域医療の強化	<p><u>新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、季節性インフルエンザの同時流行への備えとして、現場の最前線に対応している地域医療との連携や支援を強化するため、地区医師会の協力のもと、以下の対応を実施。</u></p> <p><u>世田谷区医師会</u></p> <p>・<u>烏山総合支所における医師会付属烏山診療所の対応スペースを拡充（令和4年11月上旬より）</u></p> <p><u>玉川医師会</u></p> <p>・<u>玉川医師会診療所付近に検査車両を設置し、診療拡充（令和4年12月中旬より）</u></p>
	地域医療の補完	<p><u>医療機関によるオンライン診療等体制の確保</u></p> <p><u>感染拡大に伴う地域医療の発熱外来ひっ迫を解消することを目的に地域医療の補完として、医療機関による重症化リスクの低い区内在住者等（有症状者）を対象としたオンライン診療等の体制確保を実施</u></p>

4 保健所体制強化

分類	項目	内容
保健所体制強化	庁内応援体制	全庁応援を実施（データ入力、積極的疫学調査等）
	委託の活用	事務職・看護師の人員増にて対応（データ入力、積極的疫学調査等）
	大学との連携	日本体育大学及び国土館大学との協定に基づく、救急救命士の資格を持つ大学教員等による業務支援

5 療養支援

分類	項目	内容	
自宅療養 (P16を 参照)	世田谷区自宅療養者相談センター	陽性者や濃厚接触者からの相談対応を実施（外部委託） 自宅で療養している方で、体調に不安のある方からの相談対応や、食料配送を実施している	
	東京都自宅療養サポートセンター（うちさば東京）	東京都が実施する自宅療養者からの相談対応 自宅で療養している方で、体調に不安のある方からの相談対応や、食料配送及びパルスオキシメーターの配布を実施している	
	健康観察	世田谷区健康観察センター	・全ての療養者へ保健所から療養案内を記載したショートメッセージを送信（外部委託） ・都のフォローアップセンターの対象外の方で、保健所による健康観察が必要な方の健康観察を実施 ・対象者のリストを区・事業者でモニタリングし、症状に応じて機動的に架電し、健康状態を的確に把握（外部委託）
		東京都フォローアップセンター	東京都が実施する自宅療養者への健康観察 発生届の対象者について、保健所から都へ健康観察依頼をしている 発生届の対象（令和4年9月26日～）：65歳未満、入院を要する者、重症化リスクがあり、かつ新型コロナ治療薬の投与又は新たに酸素投与が必要な者、妊婦 発生届対象外の方で、陽性者登録センターに登録した方について、MyHER-SYS等により健康状態の確認を行う
		医療機関	かかりつけ医等の医療機関による健康観察の実施
	パルスオキシメーター配布（区）	希望する自宅療養者に対して配布できるよう、1月15日時点で9,160台を確保	
	酸素濃縮装置	東京都	契約及び協定により、1,000台を確保
		世田谷区	契約及び協定により、約16台を確保
	体調悪化時の対応	医師会	電話オンライン診療や往診等の体制を維持
		訪問看護ステーション	訪問看護業務委託を東京都が継続実施し、区における往診体制でも活用した
世田谷区		上記健康観察センターから、連携医療機関に対して電話・オンライン診療や往診を実施（外部委託）	
食料配送（区）	委託	申し込みから3日以内に飲料、ゼリーなど流動食を配送できるよう外部委託を実施	
宿泊療養	宿泊療養施設	東京都で運営（30施設）＜最大11,000室稼働＞ 令和4年12月1日時点	

	感染拡大時療養施設	東京都で運営（2施設）＜最大約 324 床稼働＞ 令和 4 年 12 月 1 日時点
酸素療養	区入院等待機施設（旧世田谷区酸素療養ステーション）(P17 を参照)	世田谷区民を対象として令和 4 年 1 月 11 日より開設し、（16 床） 令和 5 年 1 月 15 日時点で 234 名を受け入れた
	都酸素医療・提供ステーション	東京都で運営（2施設）＜200 床稼働＞ 令和 4 年 12 月 1 日時点

6 入院

分類	項目	内容
病床の確保	医療機関支援 (P19 を参照)	医療機関の受け入れ体制を強化及び地域医療体制の確保のため、新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関を支援する
	臨時の医療施設	「医療機能強化型」、「高齢者等医療支援型」（うち 1 施設は区内立地（令和 4 年 7 月開設））、「妊婦支援型」の臨時の医療施設を東京都で運営 高齢者等医療支援型施設の入所者については、感染者のうち「入院中」に計上されている

7 治療

分類	項目	内容
軽症	中和抗体薬（抗体カクテル等）	都による患者移送・患者からのコールセンターを設置し、入院・外来等で投与できる体制を構築
	経口治療薬	国の登録センターに登録済みの医療機関や薬局を通じた薬の提供体制

8 研究

分類	項目	内容
研究	Ct 値	今後の区の新型コロナウイルス感染症の感染症対策を、より一層効果的なものとするを目的に、社会的検査の陽性事例のウイルス量（Ct 値）の傾向を慶應義塾大学医学部腫瘍センターゲノム医療ユニット長医学博士西原教授の監修のもと、分析した結果を報告書としてとりまとめた（令和 3 年 5 月 26 日福祉保健常任委員会報告）

9 ワクチン

分類	項目	内容
ワクチン	(P32 を参照)	

10 その他

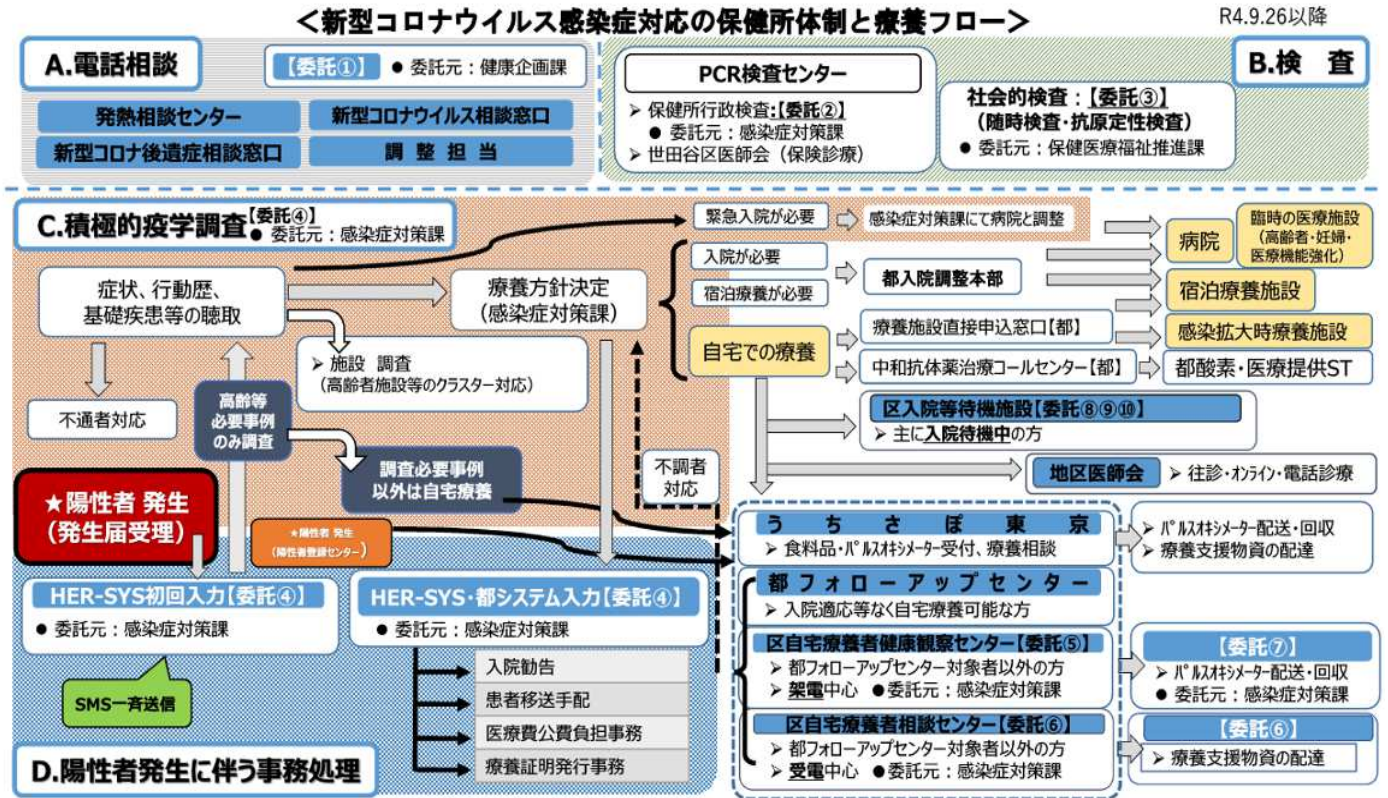
分類	項目	内容
その他	後遺症	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度に2回の後遺症アンケート調査を実施し、3月に報告書としてとりまとめた（令和4年3月25日議会情報提供）・アンケートの自由意見欄には健康面の不安のほかに労働問題の課題に関する意見が多数あり、労働相談や生活に関する相談窓口等との連携により総合的に対応できるよう相談体制を整備した（令和4年4月6日議会情報報告）

国は新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけについて、令和5年1月27日の新型コロナウイルス感染症対策本部にて令和5年5月8日から5類感染症へ位置づける方針を決定したが、医療提供体制等は段階的な移行を目指すとしており、具体的な内容については3月上旬に示される予定である。

今後、その内容が明らかになり次第、区としても必要な対応を検討していく。

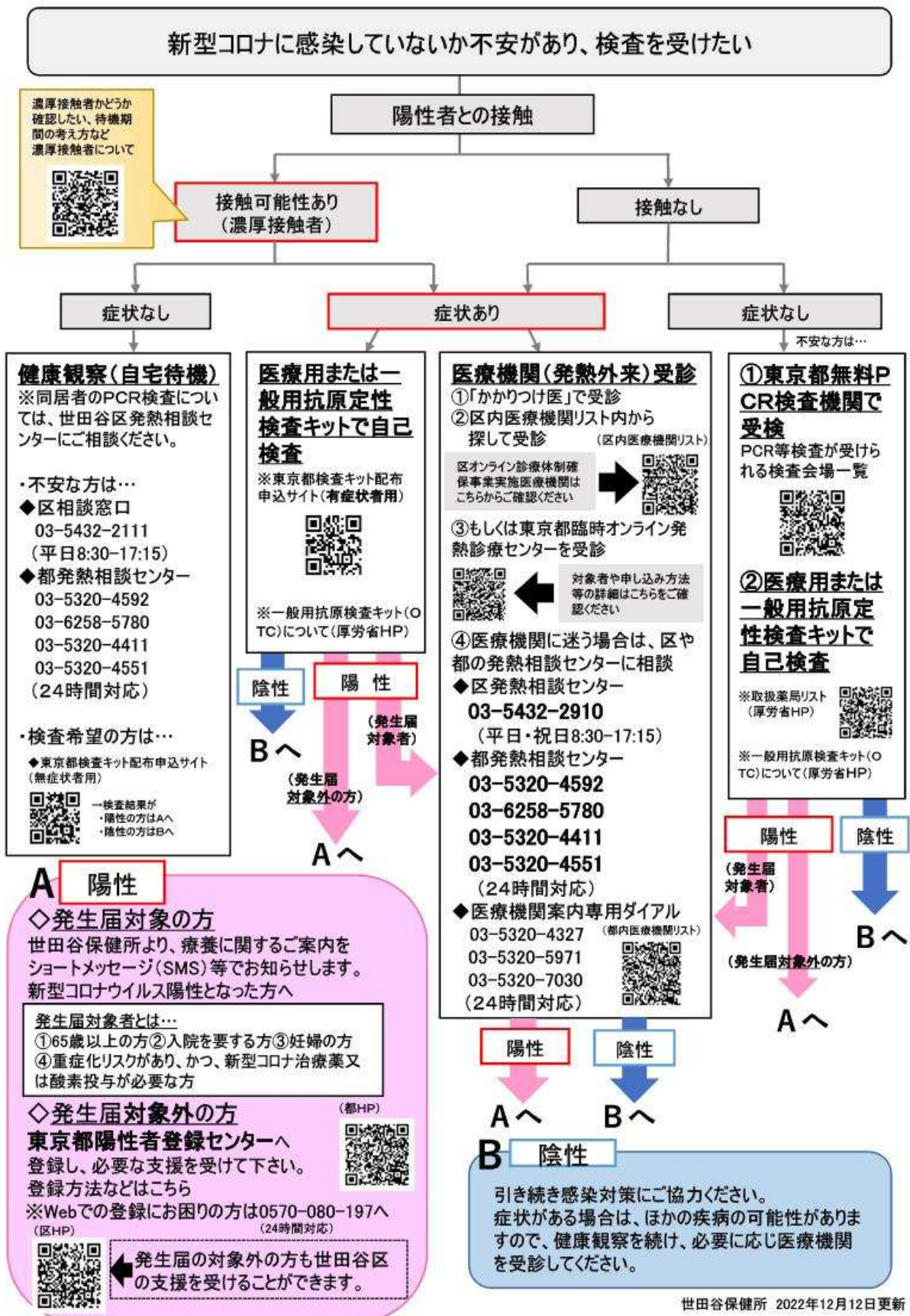
(2) 新型コロナウイルス感染症に関する業務フロー

区は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、保健所・保健福祉政策部をはじめとした関係所管部の職員及び民間の多様な人材の活力を活用し、次のようなフローで対応を行っている。



(3) 新型コロナウイルス感染症に関する検査フロー

区は新型コロナウイルスに感染していないか不安があり、検査を受けたい場合にどのように行動したらよいか、フローチャートを作成し、ホームページにて周知している。



(4) 新型コロナウイルス感染症自宅療養者への支援

療養方針別自宅療養者への支援（連絡、健康観察、物資） 令和5年1月15日時点

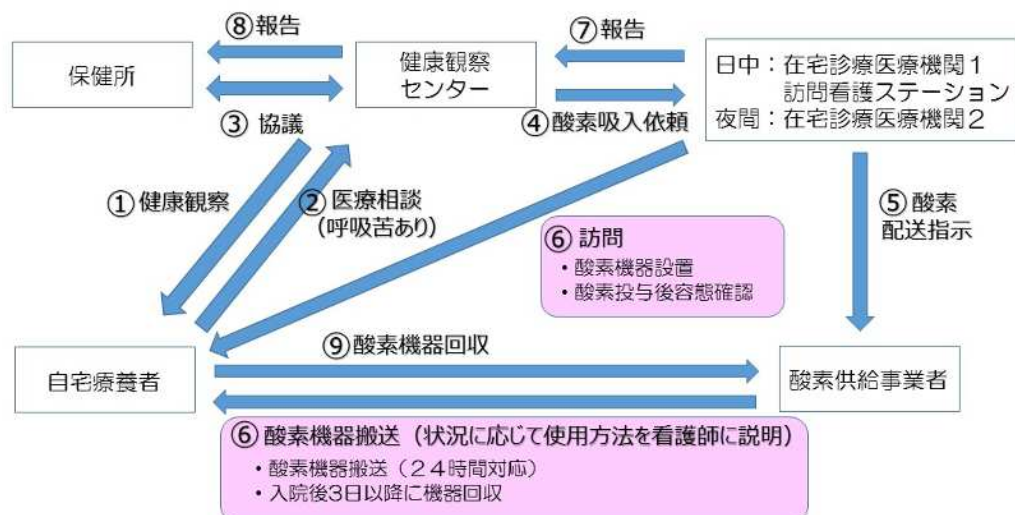
分類	対象	初回SMS	初回架電	健康観察	パルスオキシメーター	配食（都）	配食（区）
入院	入院	○	○	医療機関	×	×	×
ホテル	ホテル	(対象者のみ)	(対象者のみ)	ホテル	×	×	×
	自主ホテル						
自宅療養	医療機関管理	(対象者のみ)	×	診断医	○ (希望者は うちさばへTEL)	○ (希望者は うちさばへTEL)	○ (希望者のみ配送)
	保健所 (区)	(対象者のみ)	(対象者のみ)	外部人材	○ (入院待機者は 都から配送)	×	×
				区FUC	○ (希望者のみ配送)	○ (希望者は うちさばへTEL)	○ (希望者のみ配送)
フォローアップセンター (都FUC・うちさば東京)	上記以外の方	(対象者のみ)	(対象者のみ)	都FUC	○ (希望者は うちさばへTEL)	○ (希望者は うちさばへTEL)	○ (希望者のみ配送)

在宅での酸素投与の体制整備

令和3年4月下旬より、区、健康観察センターの受託事業者、在宅酸素供給事業者の3者が連携し、入院調整中で酸素吸入が必要な感染者へのフォローアップ体制を強化した。主に自宅療養中に呼吸苦等の発現により症状が悪化し、入院調整が必要と判断された感染者を対象として、自宅に速やかに酸素濃縮器を運搬するとともに、医療職による在宅での酸素投与等の診療体制を現在も維持している。（図）

(図)

在宅での酸素投与の体制



【在宅酸素供給実績】（令和5年1月15日時点）

期間	貸出台数
感染第4波～5波（R3.5～9）	83台
感染第6波（R4.1～3）	27台
感染第7波（R4.7～9）	23台
感染第8波（R4.10～）	7台

都の在宅療養者への医療支援策の活用

東京都でも、令和3年5月より在宅療養者が急増した場合に備え、都内全域において、在宅療養者の体調が悪化した場合、東京都・東京都医師会と地区医師会が連携し、地域の医師等による電話（オンライン含む）や訪問による診療が受けられる体制を構築している。区においても、世田谷区医師会、玉川医師会との連携により、東京都の在宅療養者支援の仕組みを積極的に活用し、在宅療養者の健康観察や往診対応等の在宅療養者の支援に引き続き取り組んでいく。

世田谷区入院待機施設（旧世田谷区酸素療養ステーション）の開設・運用

新型コロナウイルス感染症患者の急増により入院待機等が発生した場合に備え、令和4年1月11日に酸素投与を含め患者に必要な支援を行うことを目的に世田谷区入院待機施設を再開設した。家族や集団生活内での2次感染を防ぎたい方を利用対象にするなど、オミクロンの特性に対応した柔軟な受け入れを行っている。

< 世田谷区入院待機施設の概要 >

1 施設の位置づけ

感染症法に基づく新型コロナウイルス感染症患者の宿泊療養施設

2 設置場所

区内社会福祉施設を活用（非公開）

3 定員

16名（世田谷区民対象）

7/20（ピーク時）の最大利用者数14名

4 運用実績

（1）入所者数

男	女	合計
136	98	234

（2）年代別入所者数（累計）

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
1	15	22	23	23	33	38	59	20

(3) 酸素投与件数 (累計)

酸素投与
13

(4) 点滴投与件数 (累計)

点滴投与
24

(5) 退所後の行先 (累計) 4名入所中

病院	ホテル	自宅
21	17	192

(5) 新型コロナウイルス感染症対応医療機関等支援事業

新型コロナウイルス感染拡大に対応する医療機関の受け入れ体制を強化するとともに、地域医療体制の確保を図るため区内の医療機関を支援する補助事業を実施し、区内 94 の医療機関を支援している。令和 5 年 1 月 15 日現在の実績は下記のとおりである。(令和 4 年 10 月～12 月の実績は 2 月末に確定予定。)

新型コロナウイルス感染症専用病床確保支援

区内 9 つの新型コロナウイルス感染症患者入院受入医療機関に対し、新型コロナ病床を重症の区民が使用した場合に、1 日につき 1 床あたり 24,000 円、中等症 の区民が使用した場合、1 日につき 1 床あたり 16,000 円、その他の症状の区民が使用した場合、1 日につき 1 床あたり 8,000 円を補助している。

< 区内確保病床数の推移 >

自衛隊中央病院を除く

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
191	191	167	196	196	204	実績は 2 月末に確定予定					

< 確保病床の区民使用数 (延べ) >

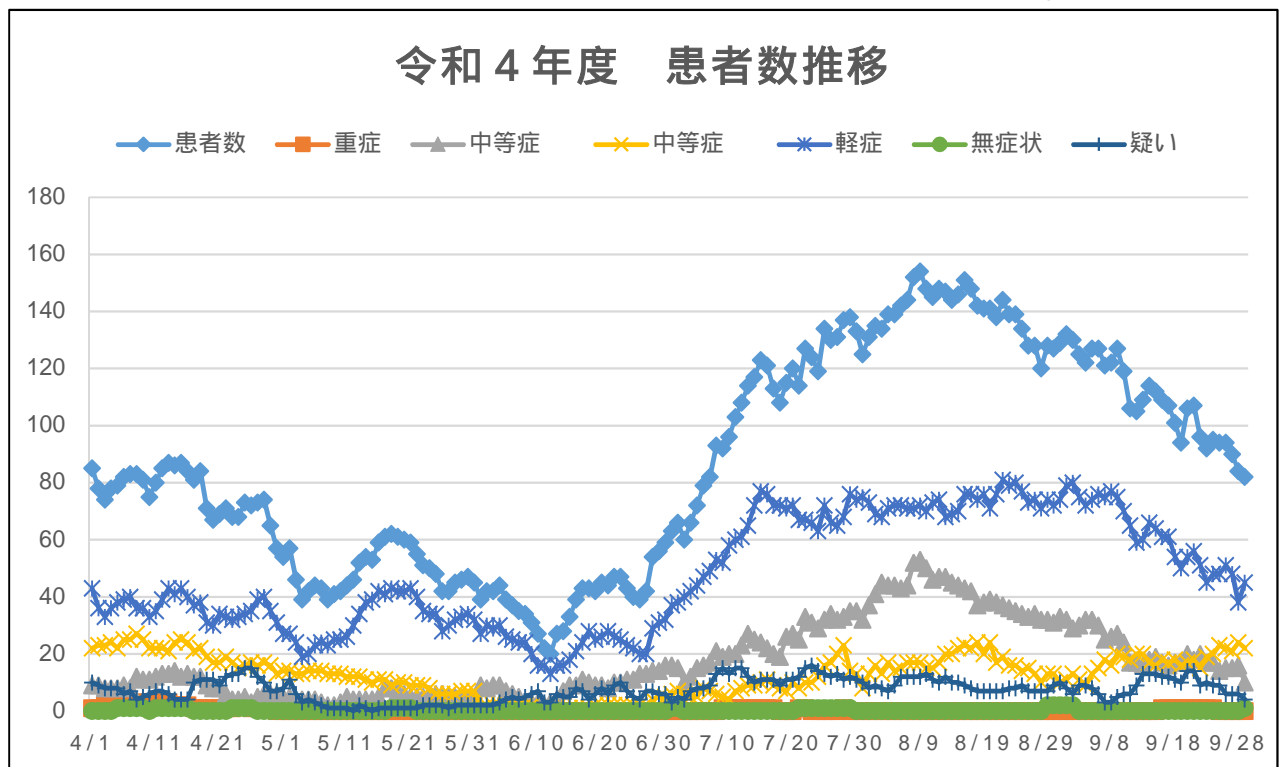
4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1635	1078	938	2279	2662	2192	実績は 2 月末に確定予定					

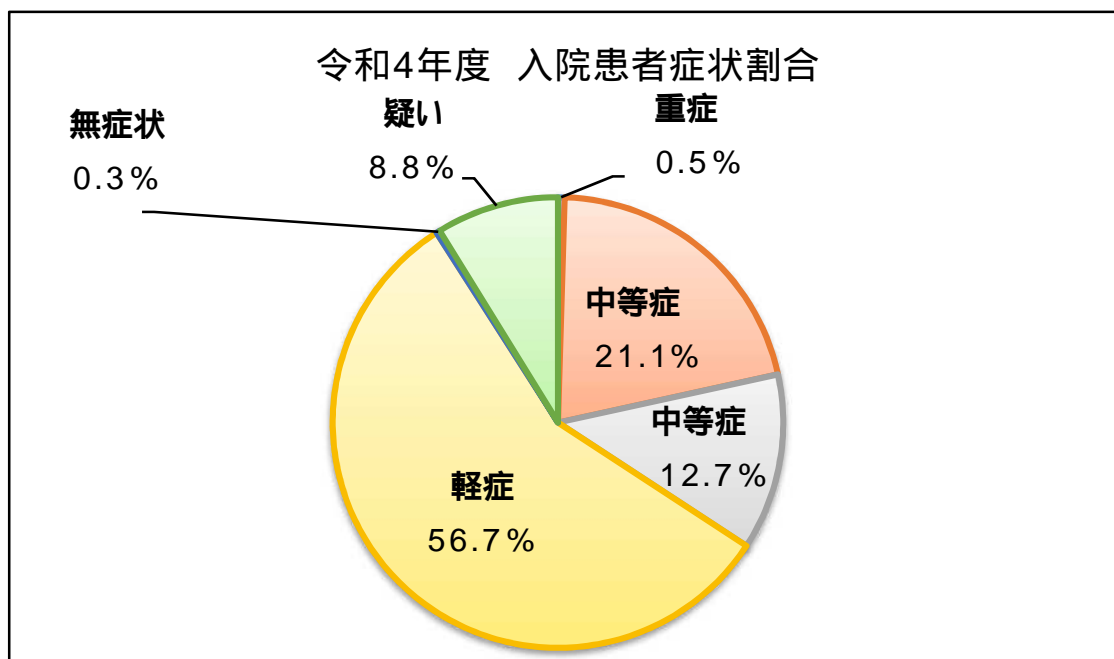
< 確保病床のうち区民使用率 >

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
71.1%	70.5%	79.3%	68.6%	61.5%	67.7%	実績は 2 月末に確定予定					

< 入院患者数の推移 >

自衛隊中央病院を除く





令和4年9月末時点実績

発熱外来等の運営支援

区民が身近な医療機関において新型コロナウイルスに係る検査が実施できるよう、PCR検査について行政検体の受入れ、または保険診療による検査を実施する医療機関に対し補助を行っている。第5波において、各医療機関において検査数の大幅な増加が見受けられ、衛生資材等の消費量の増加も想定されることから、令和4年度は検査数に応じた補助となっており、1か月あたりの保険診療によるPCR検査及び抗原検査数の合計が300件以上の場合、1か月あたり40万円、200件以上の場合、1か月あたり30万円、100件以上の場合、1か月あたり20万円、100件未満の場合10万円を補助している。

区内89の医療機関が支援を受けている。そのうち、発熱外来等が81、訪問診療が5、帰国者・接触者外来が3となっている。

< 補助事業実施医療機関によるPCR検査数 >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8419	6461	5636	12942	10194	6452	実績は2月末に確定予定					

帰国者・接触者外来除く

< 補助事業実施医療機関による抗原検査数 >

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6583	5804	4983	14274	13223	7741	実績は2月末に確定予定					

休業・縮小施設の再開支援

医療機関の従業員または入院患者が新型コロナウイルス感染症に罹患、またはその疑いが発生したことにより、外来診療の一部または全部の休診、病床使用停止になった場合に、補助を実施している。休診した1ラインごとに、1日につき41,700円、病床の使用停止は1日、1床あたり8,000円を補助している。

< 休診補助医療機関数等 >

	R4.4~6月	7~9月	10月~12月	R5.1~3月
休診した医療機関	0	9(56日)	実績は2月末に確定予定	
補助した停止病床数	延べ 472 床	延べ 551 床	実績は2月末に確定予定	

新型コロナウイルス感染症回復後患者の転院受入支援

新型コロナウイルス感染症の退院基準を満たしたが、リハビリや他の疾患の療養の必要、介護者の罹患などの理由により自宅や入所施設、グループホーム等に戻ることでできない入院患者の転院等を受け入れる区内の医療機関や高齢者施設等を支援し、区内の新型コロナウイルス感染症入院受入病床の確保を図っている。

ア．新型コロナウイルス感染症入院受入医療機関より回復後患者を受入れた場合、
1日につき 8,000 円（転院日より 20 日間を限度）

イ．ア（区内に限る）に転院を実施した医療機関は患者 1 名につき 12,000 円

ウ．自院にて回復後患者をコロナ病棟以外に転床させた場合、1日につき 8,000 円
（転床翌日より 10 日間を限度）

< 区内病院より転院を受け入れた患者数 >

	R4.4~6月	7~9月	10月~12月	R5.1~3月
転院受入患者数	2名	3名	実績は2月末に確定予定	
転院後の入院日数（延べ）	169日	54日	実績は2月末に確定予定	

< 自院にて回復後患者の転床を実施した患者数 >

	R4.4~6月	7~9月	10月~12月	R5.1~3月
転床実施患者数	20名	110名	実績は2月末に確定予定	
転床後の入院日数（延べ）	335日	1,452日	実績は2月末に確定予定	

(6) PCR検査（従来型）件数の推移

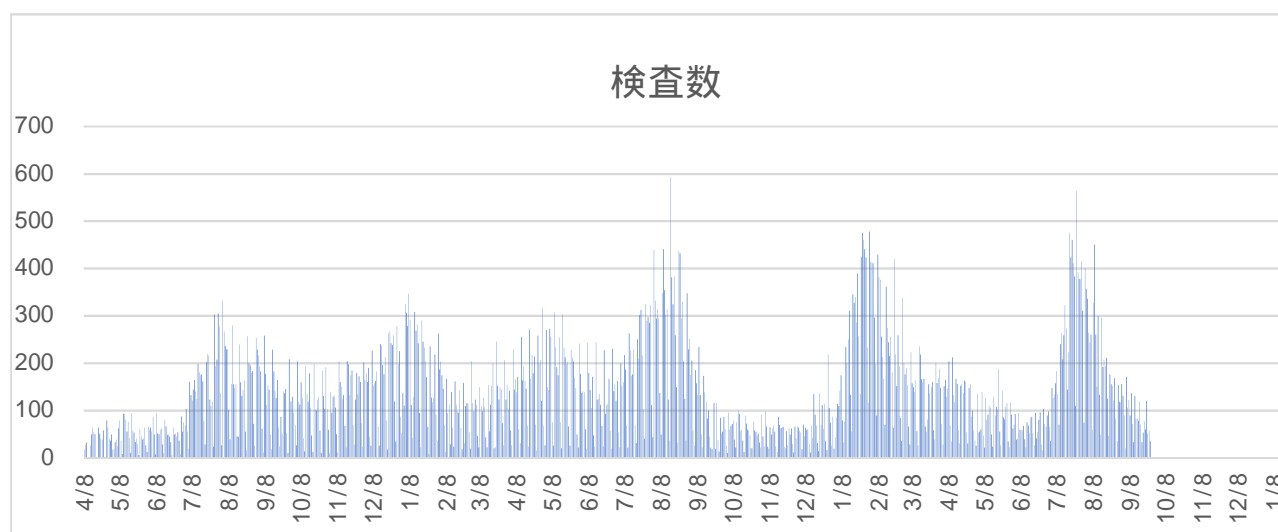
< PCR検査件数 >

実施月	検査数 (a) 1	【参考】左記以外検査数（注）		検査総数 (a)+(b)+(c)
		PCR検査(b)	抗原検査 (c)	
令和4年1月以前	83,615件	51,604件	28,530件	163,749件
2月	7,003件	10,212件	7,529件	24,744件
3月	4,285件	8,663件	6,735件	19,683件
4月	3,448件	6,743件	5,511件	15,702件
5月	2,607件	5,385件	4,697件	12,689件
6月	1,877件	4,523件	4,003件	10,403件
7月	7,852件	12,942件	14,274件	35,068件
8月	6,135件	10,194件	13,223件	29,552件
9月	2,174件	6,452件	7,741件	16,367件
累計	118,996件	116,718件	92,243件	327,957件

1 世田谷保健所（行政検査） 世田谷区医師会（保険適用） 玉川医師会（保険適用） 区内医療機関。
なお、東京都PCR等検査無料化事業や抗原定性検査キットのOTC化（インターネット等での販売を解禁）などによる様々な検査手法が増えてきたことや、発生届出の限定に伴い、検査件数の総数把握が困難となったため、9月25日分をもって集計を終了した。

（注）は医療機関支援を受けており、従来型のPCR検査に含まれていない医療機関の検査数。
 検査数は区内で検査を受けた区民の検査数であり、区外で検査を受けた区民や区内で検査を受けた区外の方の数は含まれない。また、陰性確認検査として一人で複数回実施した検査件数を含んでいる。

< PCR検査件数の推移 >



(7) 社会的検査の取組み

保健所等が実施する「感染症の疑いがある有症状者の方や濃厚接触者のPCR検査」に加え、有症状者が濃厚接触者に限らない検査の取組みとして、施設利用者への感染を防ぎ、重症化を避けることや、施設内でのクラスター発生を抑止することを目的として令和2年10月から「社会的インフラを継続的に維持するための検査（社会的検査）」を実施している。

令和4年7月1日以降、感染拡大に備え、より迅速かつ効果的に社会的検査を実施するため、重症化リスクの高い施設等（高齢・障害施設等）においては、抗原定性検査を実施するとともに、その判定結果に関わらず、同時並行で随時検査の予約を受け付け、PCR検査を実施することで、感染者の早期発見により重症化およびクラスターの抑止を図る。また、その他の施設等（保育施設、幼稚園、小中学校、新BOP、児童養護施設等）については、原則として抗原定性検査を実施し、一定以上のウイルス量を有する方を早期に発見し、簡易キットで陽性判定となった方のみを対象を絞り、随時検査を実施する運用に変更した（ただし、クラスター（感染者が5名以上）が発生した時は高齢・障害施設等と同様の扱い）。

1 令和4年11月以降の対応

今冬においても新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」）の感染拡大や、さらに季節性インフルエンザ（以下、「インフル」）の同時流行も懸念されたことから、以下のとおり、施設および家庭における感染拡大防止のための抗原定性検査キットを配付するとともに、令和5年3月まで社会的検査の実施を延長した。

(1) 施設および家庭における感染拡大防止のための抗原定性検査キットの追加配付

令和4年6月下旬から7月上旬にかけ、感染拡大時期の備えとしてマスクの着用が難しくソーシャルディスタンスがとりづらい区内の保育園、幼稚園等の利用者及び同居する家族を対象に施設および家庭における感染拡大防止用として新型コロナの抗原定性検査キット（以下、「簡易キット」）を配付した。

今冬は新型コロナの感染拡大の想定に加え、インフルの同時流行も懸念されたことから、10月17日厚生労働省事務連絡「季節性インフルエンザとの同時流行を想定した新型コロナウイルス感染症の検査体制の強化について（依頼）」に基づき、あらためて感染拡大時期の備えとして新型コロナの簡易キットの追加配付を行った。

対象者

区内の保育園、幼稚園等の利用者及び同居する家族

実施方法

対象施設へ、利用者の世帯に対して簡易キットを一律2個配付

使用対象は子どもも含め家族を対象とする

配付数量

72,375キット

配付時期

令和4年11月21日～12月5日

(2) 社会的検査の実施期間延長

今冬も新型コロナの感染拡大やインフルの同時流行も懸念されることから、国や都の動向等を踏まえつつ、社会的検査を令和5年3月末まで継続して実施する。

<延長前> 令和4年4月1日～令和4年12月末まで

<延長後> 令和4年4月1日～令和5年3月末まで

(3) 随時検査予定数、簡易キット配付予定数の変更

上記(1)、(2)の実施に伴い、令和4年度(令和5年3月まで)における随時検査及び簡易キットの予定数量を、下表のとおり変更した。

1～3月も第7波時と同等の体制とする	【変更前】 (4月～12月)	【変更後】 (4月～3月)
随時検査	46,000件	28,200件
簡易キット	55万キット	63.5万キット
(内訳)		
随時検査の補完	362,000	451,000
行事前検査	114,000	38,000
施設および家庭における感染拡大防止	74,000	146,000

随時検査については、第7波が当初想定より遅れて到来したことにより、4～6月の検査数が大幅に減少したため、実績を踏まえ、下方修正した。

2 PCR検査（社会的検査）の実施実績

介護事業所等を対象としたPCR検査（社会的検査）の実施実績は次のとおりである。

<全体>

	行政検査			スクリーニング検査 【令和3年1月13日 受付開始】
	計	【令和2年10月1日受付開始】		
		随時検査	定期検査	
実施設数	1,173 施設	727 施設	446 施設	344 施設
介護事業所	573 施設	233 施設	340 施設	244 施設
障害者施設	198 施設	102 施設	96 施設	98 施設
上記以外	402 施設	392 施設	10 施設	2 施設
延べ施設数	2,901 施設	1,921 施設	980 施設	2,787 施設
介護事業所	1,292 施設	540 施設	752 施設	1,861 施設
障害者施設	493 施設	297 施設	196 施設	919 施設
上記以外	1,116 施設	1,084 施設	32 施設	7 施設
検査数	69,500 件	53,151 件	16,349 件	30,878 件
介護事業所	32,234 件	18,814 件	13,420 件	18,068 件
障害者施設	10,479 件	7,931 件	2,548 件	12,578 件
上記以外	26,787 件	26,406 件	381 件	232 件
陽性者数	1,158 件	1,133 件	25 件	
陽性把握 実施施設	323 施設	311 施設	12 施設	
介護事業所	95 施設	84 施設	11 施設	
障害者施設	40 施設	39 施設	1 施設	
上記以外	188 施設	188 施設	0 施設	

行政検査の実績数には保健所や医師会等で行っている従来型のPCR検査の実績数は含まれていない。

定期検査は令和3年10月以降より停止している。

スクリーニング検査は令和4年1月以降より停止している。

随時検査は令和4年7月1日より運用を変更している。

<週ごとの検査数>

週ごとの検査数 合計53,151人(1月15日現在) 随時検査
週ごとの陽性者数 合計1,133人(1月15日現在) 随時検査



3 抗原定性検査キットの配布実績（社会的検査等）

令和3年度

配布目的		配布数
社会的検査対象施設への備え置き等		242,075
内訳	高齢施設	83,760
	障害施設	24,250
	保育園幼稚園等	69,185
	小中学校(新 BOP 含む)	62,900
	児童養護施設等	1,980
施設および家庭における感染拡大防止		69,950
行事前検査		41,425
医療機関への支援		50,000
区民等への配布		128,388
その他（保健所等）		4,780
合計		536,618

令和4年度（令和5年1月15日時点）

配布目的		配布数
社会的検査対象施設への備え置き等		212,325
内訳	高齢施設	99,750
	障害施設	15,150
	保育園幼稚園等	48,550
	小中学校(新 BOP 含む)	47,275
	児童養護施設等	1,600
施設および家庭における感染拡大防止		144,800
行事前検査		56,135
医療機関への支援		22,168
その他		2,090
合計		437,518

(8) 東京都 PCR 等検査無料化事業に関する民間事業者との連携

東京都 PCR 等検査無料化事業とは

オミクロン株の市中感染が発生したことを受け、東京都は、当面の間措置として感染リスクが高い環境にあるなど感染不安を感じる無症状の方などが、無料で PCR 等検査を受けられる事業を実施している。

【 定着促進事業 】

対象：ワクチン 3 回目接種未完了者あるいは対象者全員検査対象者等で、飲食、イベント、旅行等の活動に際して、陰性の検査結果を確認する必要がある無症状の方

期間：令和 3 年 12 月 23 日から令和 4 年 8 月 31 日まで

令和 4 年 12 月 24 日から令和 5 年 1 月 12 日まで一時再開

【 一般検査事業 】

対象：発熱などの症状がない無症状の都民の方で、感染している可能性に不安を抱える方や、あらかじめ感染不安を解消しておきたい事情がある方

期間：令和 3 年 12 月 25 日から当面の間

区と民間事業者との連携による区内での検査実施

川崎重工業株式会社からの提案により、東京都が実施している PCR 等検査無料化事業に基づき、感染症の感染不安を感じる都民に対し、区と連携し、無料 PCR 等検査を実施している。

1 実施場所（令和 5 年 1 月 15 日（日）時点）

ア 代田区民センター 1 階ロビー（世田谷区代田 6 - 34 - 13）

イ 烏山区民センター広場（世田谷区南烏山 6 - 2 - 19）

ウ 経堂駅前道路事業用代替地（世田谷区宮坂 3 - 11）

エ 玉川総合支所 コミュニティ広場（世田谷区等々力 3 - 4 - 1）

オ 玉川三丁目旧保育施設（世田谷区玉川 3-27-1）

2 実施期間 当面の間

3 検査方法 PCR 検査（検体：唾液）

4 これまでの実績数（令和 5 年 1 月 15 日（日）終了時点）

会場	件数	期間
代田区民センター	14,455 件	令和 4 年 1 月 14 日～令和 4 年 2 月 13 日 令和 4 年 4 月 25 日～令和 4 年 10 月 12 日 令和 4 年 12 月 12 日～継続中
宮坂区民センター	4,866 件	令和 4 年 1 月 21 日～令和 4 年 2 月 20 日
大蔵第二運動場 屋外プール棟	3,159 件	令和 4 年 2 月 15 日～令和 4 年 5 月 31 日
玉川三丁目旧保育施設	3,214 件	令和 4 年 2 月 23 日～令和 4 年 6 月 24 日 令和 4 年 12 月 13 日～継続中
旧松原まちづくりセンター施設	2,009 件	令和 4 年 2 月 25 日～令和 4 年 4 月 24 日
烏山区民センター広場	14,735 件	令和 4 年 6 月 1 日～継続中
経堂駅前道路事業用代替地	18,649 件	令和 4 年 6 月 25 日～継続中
玉川総合支所 コミュニティ広場	7,439 件	令和 4 年 8 月 1 日～継続中
合計	68,526 件	

(9) 発熱外来ひっ迫の解消に向けた医療機関によるオンライン診療等体制の確保

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地域の医療機関への受診が急増することにより、医療機関のひっ迫が懸念されたことから、区では地域医療の補完として重症化リスクの高い方や医療介入が必要な方が救急・地域医療を受診できる環境整備を目的に、医療機関によるオンライン診療の体制確保を令和4年8月より開始。

なお本事業は時限的な緊急対応として、区が委託する事業者がコーディネートすることにより、医療機関による同時検査やオンライン診療等の体制を確保し、実施する。

1 令和4年12月19日以降の主な変更点

今冬においては、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されたため、その対策として、これまでのオンライン診療体制の確保に加え、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時検査・オンライン診療・薬の処方箋発行までを行う「同時検査・オンライン診療」の体制を確保。

また感染症発生動向調査より推測されるインフルエンザ感染者の過半数は子どもであることから、小児対応医療機関のひっ迫に備え、対面診療で行う「小児専用同時検査・診療所」も併せて確保する。

2 実施概要（令和5年1月23日時点）

(1) 対象者（区が医療機関に診療対象として要請する者）

重症化リスクが低く、発熱・咽頭痛などの症状があるものの発熱外来を受診できない世田谷区内在住者

世田谷区外在住の社会的検査対象施設の職員

(2) 費用

保険診療扱いであるため、有料（診察料等）

新型コロナウイルス感染症診断確定後の経費は公費負担

(3) 確保した体制状況

小児専用同時検査・診療所（1か所）

ア 体制確保期間

令和4年12月19日（月）から令和5年3月末（予定）まで

2月末までは土曜日・日曜日・祝日および年末年始も含め実施

3月1日（水）以降は土曜日・日曜日・祝日を除く

イ 運用体制

(ア) 診療時間 午前10時から午後6時まで

(イ) 1日あたりの診療最大受付予定件数

・令和4年12月19日から令和5年2月末...80件

・令和5年3月1日以降...40件

ウ 診療等の流れ

「(4) 体制確保支援を受けた医療機関によるオンライン診療等の流れ」のとおり

同時検査・オンライン診療（3か所）

ア 体制確保期間

令和4年12月19日（月）から令和5年2月末（予定）まで

土曜日・日曜日・祝日および年末年始（12月30日～1月3日）は除く

イ 運用体制

（ア） 診療時間 午前10時から午後6時まで

（イ） 1日あたりの診療最大受付予定件数

・世田谷地域会場 30件

・北沢地域会場 30件

・砧地域会場 40件

（合計）100件

ウ 診療等の流れ

「（4）体制確保支援を受けた医療機関によるオンライン診療等の流れ」のとおり

オンライン診療

ア 体制確保期間

令和4年8月10日（水）～令和5年3月末（予定）まで

土曜日・日曜日・祝日を除く（ただし8月11日（木・祝）は実施）

イ 運用体制

（ア） 診療時間 午前10時から午後6時（1日8時間）

（イ） 1日あたりの診療最大受付予定件数

・令和4年8月10日から9月16日...330件

・令和4年9月17日から12月18日...40件

・令和4年12月19日から令和5年2月末...80件

・令和5年3月1日以降...40件

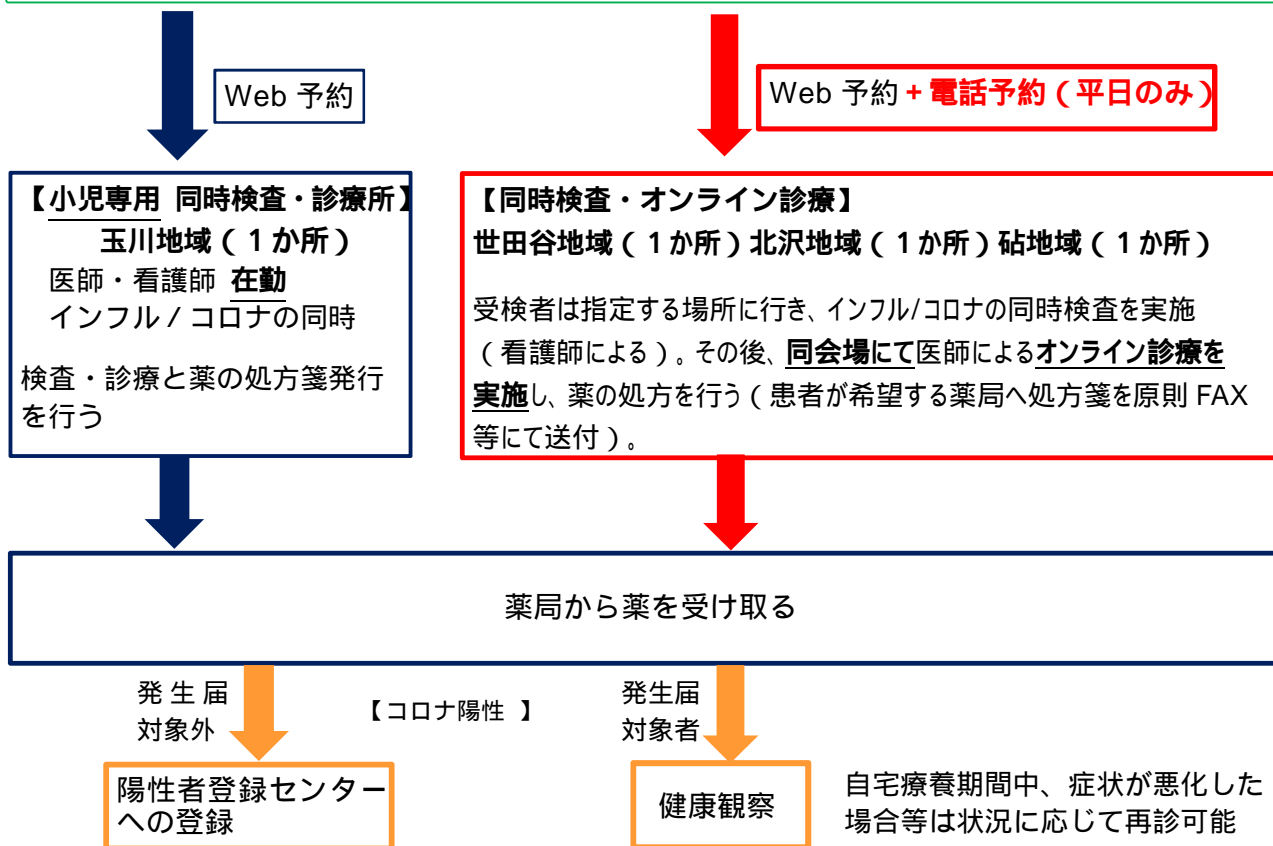
ウ 診療等の流れ

「（4）体制確保支援を受けた医療機関によるオンライン診療等の流れ」のとおり

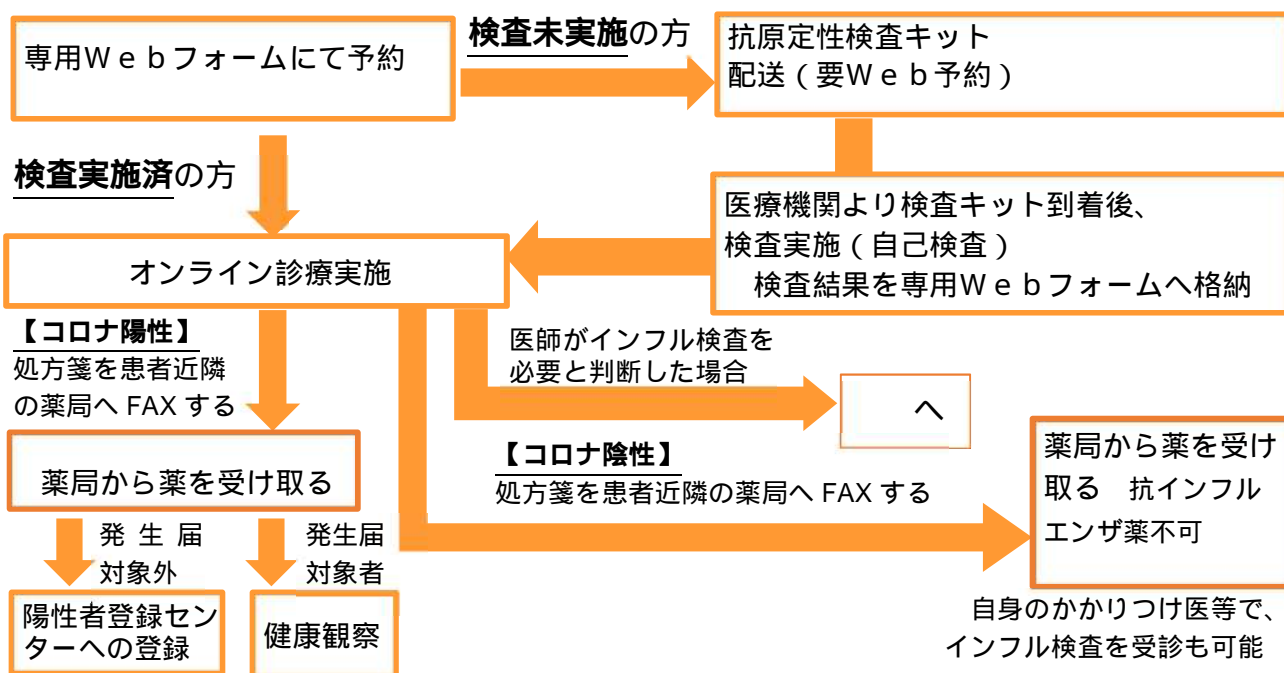
(4) 体制確保支援を受けた医療機関によるオンライン診療等の流れ

オンライン診療体制では、コロナ診療に加えて、インフルエンザの検査も行える体制を確保する。
発熱等の有症状の方は、Web上の予約フォームにて、以下の3パターンより選択する。

- 小児（15歳以下）
- 以外で、コロナとインフルエンザの両方の診療を希望する方（16歳以上）
- 以外で、コロナのみの診療を希望する方（16歳以上）



オンライン診療



自宅療養期間中、症状が悪化した場合等は状況に応じて再診可能

3 体制確保支援を受けた医療機関による同時検査・診療、オンライン診療等の運営状況
【令和5年1月15日（日）時点実績】

(1) 小児専用 同時検査・診療所（15歳以下）

	予約件数	診療件数
令和4年12月19日 ～令和5年1月15日	137件	119件

(2) 同時検査・オンライン診療（16歳以上）

	検査件数			オンライン 診療件数
	世田谷地域 会場	北沢地域 会場	砧地域 会場	
令和4年12月19日 ～令和5年1月15日	62件	32件	99件	193件

上記オンライン診療の件数は各会場の合算値。

(3) オンライン診療（16歳以上）

	予約件数	診療件数
令和4年8月10日 ～令和5年1月15日	3,185件	2,953件

上記は「新型コロナの検査 オンライン診療」の実績。

(4) 新型コロナ抗原定性検査キット配送実績

	配送件数
令和4年8月10日 ～令和5年1月15日	1,578件

(5) 薬配送実績

	配送件数
令和4年8月10日 ～令和4年12月7日	1,498件

薬配送は12月7日で終了。

(10) 新型コロナワクチン住民接種の実施状況

新型コロナワクチン接種状況（令和5年1月15日までの実績）

(1) オミクロン株対応ワクチン接種の実績

年齢区分	人口	接種済み人数	接種率
75歳以上	102,181	72,004	70.5%
65～74歳	84,493	55,889	66.1%
60～64歳	50,705	28,528	56.3%
50～59歳	142,586	63,970	44.9%
40～49歳	151,041	44,696	29.6%
30～39歳	126,608	26,191	20.7%
20～29歳	116,650	18,736	16.1%
18～19歳	15,163	3,562	23.5%
12～17歳	42,817	9,923	23.2%
合計	832,244	323,499	38.9%

(2) 小児（5～11歳）接種の実績

人口	1回目接種		2回目接種		3回目接種	
	接種済み人数	接種率	接種済み人数	接種率	接種済み人数	接種率
52,158	9,681	18.6%	9,061	17.4%	3,282	6.3%

(3) 乳幼児（生後6か月～4歳）接種の実績

人口	1回目接種		2回目接種		3回目接種	
	接種済み人数	接種率	接種済み人数	接種率	接種済み人数	接種率
32,479	846	2.6%	388	1.2%	0	0.0%

令和4年10月24日から開始。乳幼児接種は初回接種で3回の接種を受ける。